

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

茨城都知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県古河市北利根7番地

氏 名 日本パイリーン株式会社 東京工場

工場長 久保 楊之

電話番号 0280-92-1521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本パイリーン株式会社 東京工場
事業場の所在地	茨城県古河市北利根7番地
事業の種類	11 繊維工業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

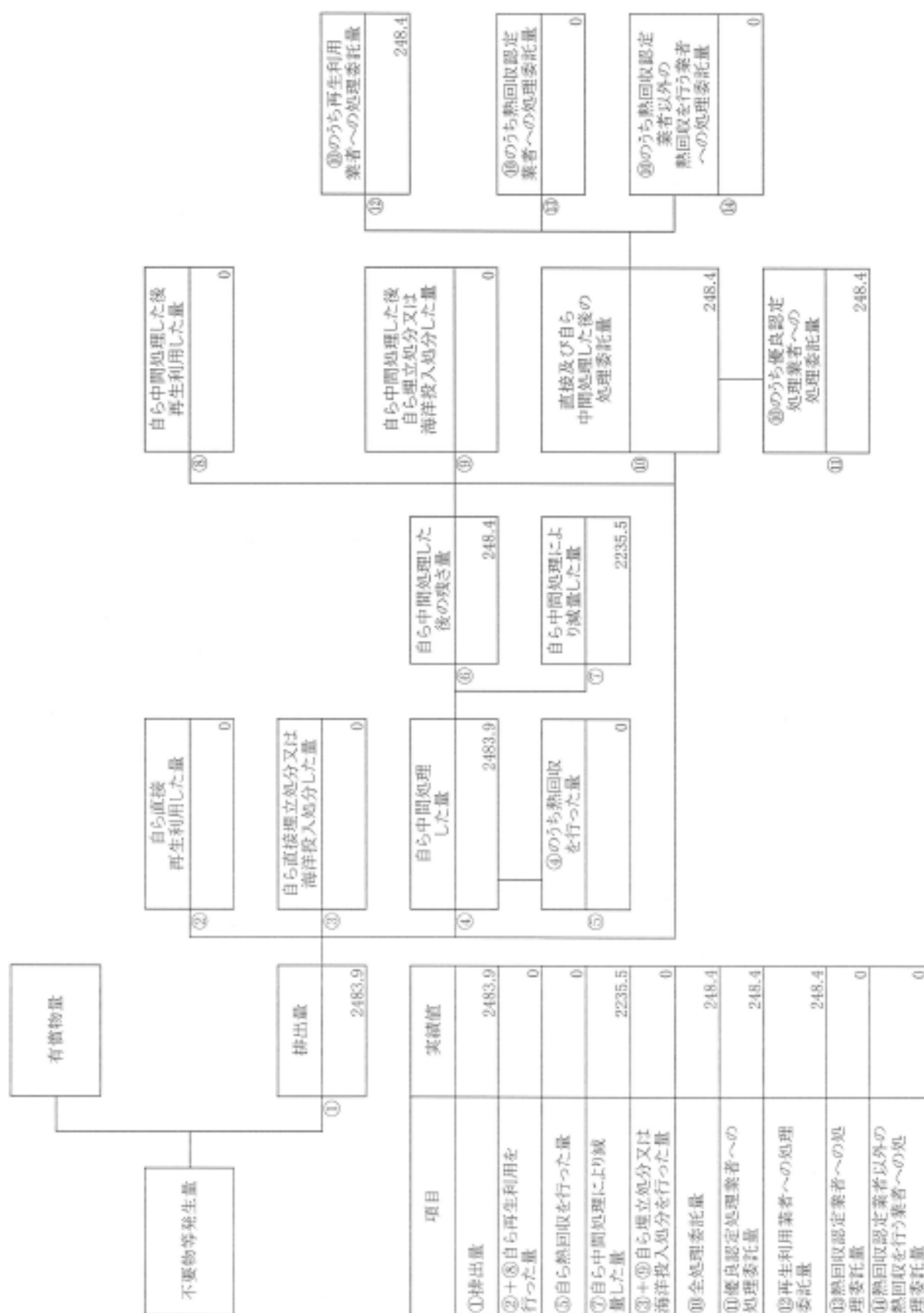
項目	目標値	項目	目標値
排出量	廃プラ 1200t 汚泥 2200t 金属 80t 廃油 1t	全処理委託量	廃プラ 1200t 汚泥 200t 金属 80t 廃油 1t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	廃プラ 1000t 汚泥 200t 廃油 1t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	廃プラ 800t 汚泥 200t 金属 80t 廃油 1t
自ら中間処理により減量す る 産業廃棄物の量	汚泥 2000t	認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	廃プラ 400t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



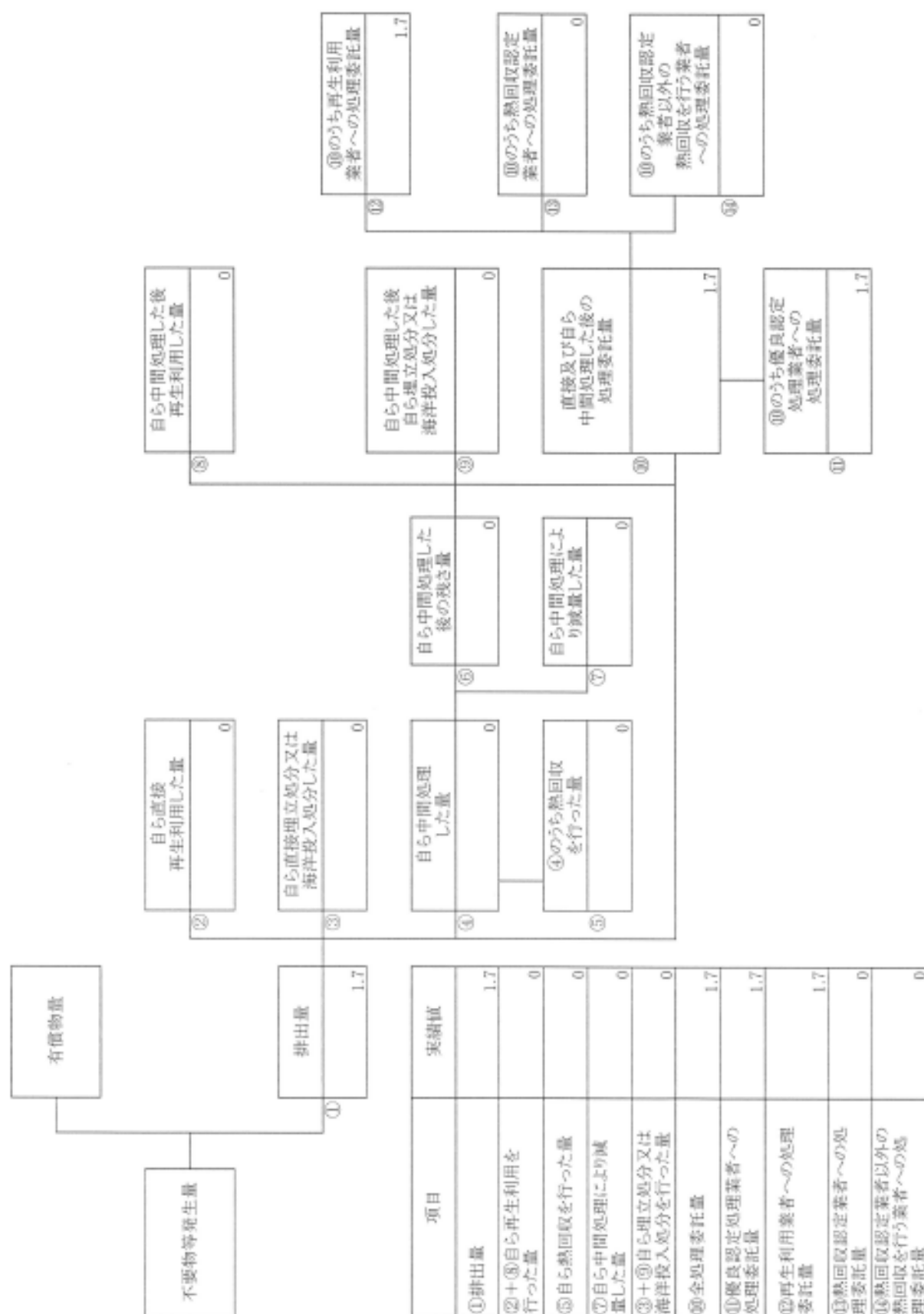
(産業廃棄物の種類:汚泥(t))

計画の実施状況



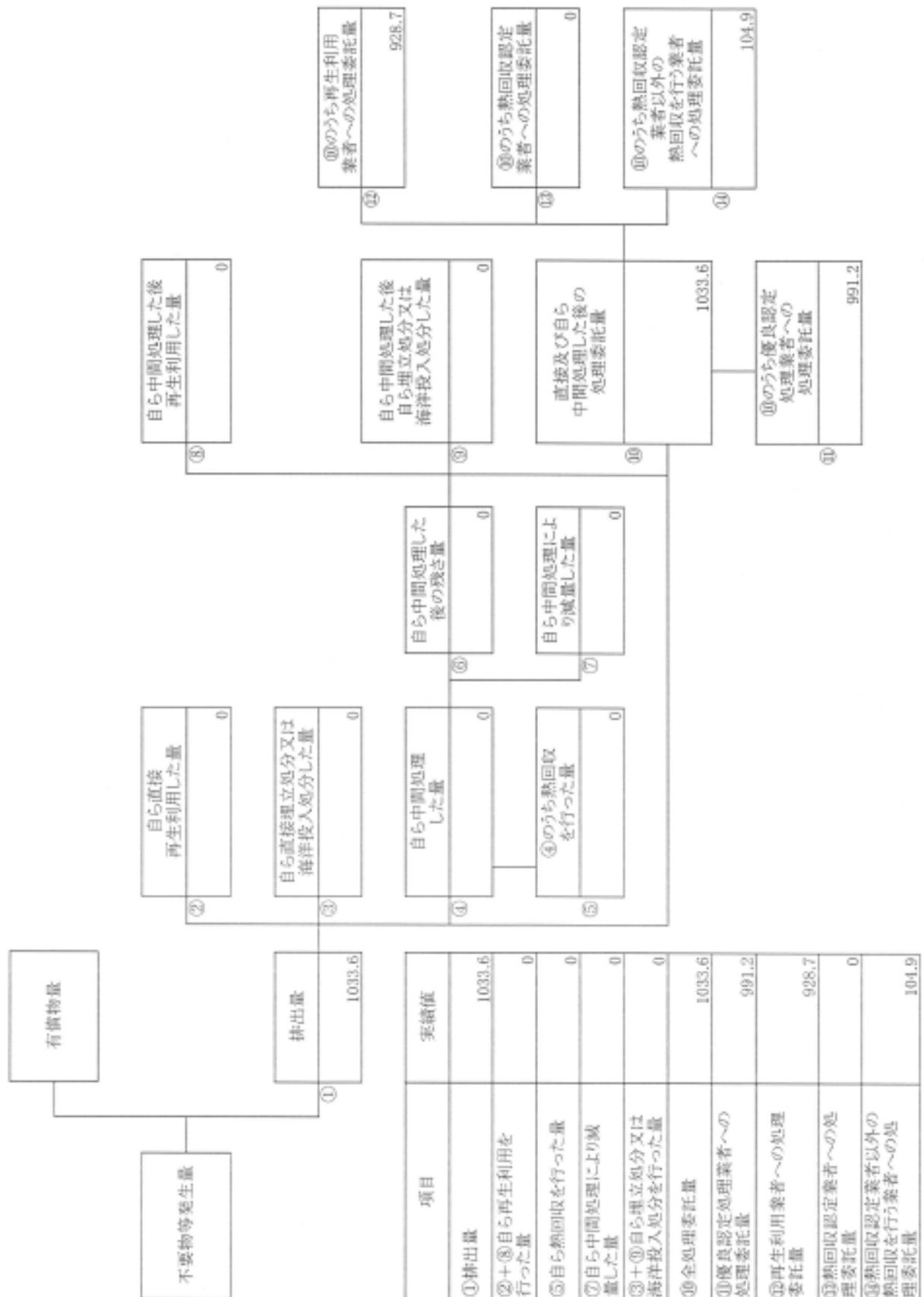
(産業廃棄物の種類: 廃油 (t))

計画の実施状況



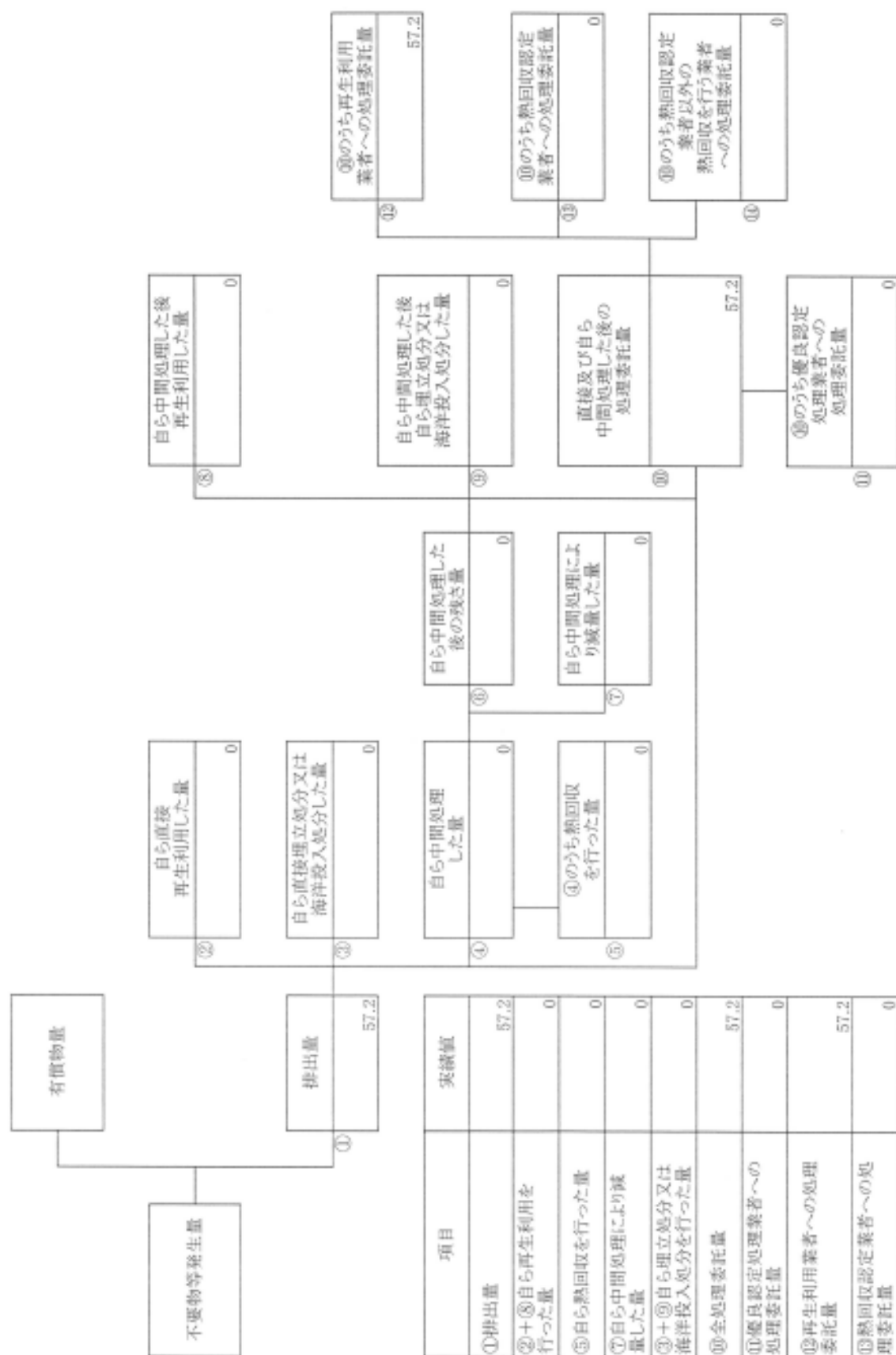
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(t))

計画の実施状況



(産業座棄物の種類・金属(t))

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	57.2
②+③④自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
②+③④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	57.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑬再生利用業者への処理委託量	57.2
⑮熱回収認定業者への処理委託量	0
⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。